

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的長期研修】

受託団体名 (特非)神戸定住外国人支援センター

1 事業の趣旨・目的

地域に根差した多文化理解と専門的な支援方法などを携わっている現場の講師を呼び話を聞いて、当センターのボランティア支援者の資質や技術の向上を目的とする。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
2009 年 11 月 21 日	デイサービスセンターはなの会	高橋博子 宇野祐子 金 宣吉 志岐良子 奥 優伽子	2009 年度の研修会運営の反省	出席者数とその傾向。 内容がその後の活動に活かされているかどうかの意見交換

【写真】 写真撮り忘れのため添付できません。

3 研修講座の内容について

- (1) KFC 研修会
- (2) 当センターのボランティア支援者の資質や技術の向上
- (3) 受講者の総数 38 人
- (4) 開催時間数(回数) 10 時間 (5 回)
- (5) 参加対象者の要件 当センターで活動している方
- (6) 受講者の募集方法 定期発行物 チラシ配布

(※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。)

- (7) 研修会場
ア 講義 デイサービスセンター はなの会
イ 実習
- (8) 使用した教材・リソース 講師の配布資料

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
5月9日	子どもの日本語教育	本山第二小学校 教員 村山 勇	9名
6月13日	日系ブラジル人社会を訪ねて	大阪大学院生 山本 晃輔	13名
7月11日	学習者の立場から	主婦 ホアン ティ ニュウ	11名
9月12日	移住センター見学	関西ブラジル人コミュニティ代表 松原 マリナ	10名
11月14日	識字教室の活動から見えるもの	識字教室「ひまわり」主催者 桂 光子	13名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

出席者は自分の興味のある研修会への参加のためか、評価は高い。バラエティにとんでいてよかった、自分の知らないことが多いので勉強になったというような、全体への感想をいただいた。

② 実施主体からの研修内容結果評価

受講の対象はボランティアや職員全員であったが、自分の興味のある研修会へのみの参加で、携わっていない内容については参加しない人が目立った。幅広い知識を身につけてもらえるように企画したので、その意図では十分な結果ではなかった。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

外国人支援の第一歩は、外国人生活者の「存在を知る」ことだと思われる。まだまだ一般の市民に地元の外国人の状況を知らない方が多く、今後は当センターに関わる方だけでなく地域に開かれた講座を計画していくつもりである。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携 当センター内の在日コリアン高齢者介護事業、子ども学習活動事業、日本語学習指導などに携わる人への研修はできたと思う。

② 研修後の人材活用 受講し高い意識を持ってもらって引き続き活動を継続している。

(12) 今後の課題

受講者が予想より少なかったので、研修会の内容や講師陣の充実をはかり、広報に力を入れ、幅広く参加者を募っていくことが今後の課題である。